

可搬形発電機における欧州規格 EN 15940 に準拠したバイオ燃料のご使用について

カーボンニュートラルや循環型社会の実現に向けて、バイオ燃料は次世代の燃料として注目されています。現在、建設現場で可搬形発電機においても実証が進んでおりますが、下記の内容についてご留意頂きご使用いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 対象燃料

欧州規格 EN 15940 に準拠したパラフィン系燃料の GTL (Gas to Liquid) や RD (Renewable Diesel) 燃料を含む HVO (Hydrotreated Vegetable Oil)

2. エンジンへの影響

日本国内基準の軽油と比べ、燃料密度と単位あたりの発熱量が低いため、使用できるものの、燃料消費の増加や出力が低下する場合があります。また、エンジン部品等に使用されている一部のゴム及びエラストマーの硬化・収縮のリスクが発生します。

3. その他

地方税法上の軽油には該当しないため、他の油種との混和は注意が必要です。

また、バイオ燃料を使用した場合に、国土交通省 排出ガス対策型建設機械指定制度の基準値に適合するかどうかは現時点では不明です。

ご使用前には、税法上の問題等を含め、各地方自治体に確認くださいますようお願いいたします。

以上